

サークル名

かいばみ文庫

サークルのアピールポイント

本に囲まれたほっとする空間です

自宅を開放した家庭文庫です。
約4600冊の絵本、児童書があり、
赤ちゃんから年配の方までが集う温
かい場所。おはなしの時間には、
わらべうたや、素話などを楽しみ
ます。



主宰者
かいばみ
貝喰治子さん



わらべうたには
力を入れています



パパ・ママへのメッセージ

子どもが生まれて初めて接する本が絵本なので、
ぜひ絵本を読んであげてほしい。大好きなお父
さん・お母さんが面白そうに読んでいると、子ども
も本が好きになります。

活動内容

- 本の貸し出し
- 読み聞かせ
- わらべうた
- 工作 など

サークル情報

設立日	平成18年9月
主宰者	かいばみ 貝喰治子さん
活動日時	毎週火曜、土曜 午後2:00～ (ただし毎月第2土曜は休み)
活動場所	自宅
会費	●無料
会員数	●スタッフ1名(イベント時2、3名) ●登録者134名(H23)

活動事例

本の貸し出し

本は全て、貝喰さん自身が専門家の推
薦を参考にすることで選び、購入して
います。また文庫だよりを定期的に発行
し、詩や今後の予定を掲載しています。



小学校で
読み聞かせをして
いる方にも貝喰さんの
お勧め絵本は人気

おはなしの時間

おはなしの時間には、素話やわらべ
うた、読み聞かせをします。わらべうたは
言葉のリズムや響きを体で楽しむので、
読書のよい土台になります。



サークルスタッフの声

きっかけ・良かったこと

- 本があって子どもたちとふれ合える場所がほしかったので、自宅で文庫を開きました。
- 「本当に来て良かった。ここへ来ると心が和む」と言っていたけるとうれしい。
- 私自身が利用者の方々から元気をいただいています。
- 子どもたちは年配の方からいろんなことを習ったり、ダメなことはダメと言われてもらえるので、いろいろ学ぶことができます。

活動を続ける工夫

- 自宅を開放しているの、家族の理解があってこそ続けて来られました。
- みなさんに対して同じように自然体で接することを心がけています。赤ちゃんが泣いても、男の子が元気に飛び回っても、けがをしなければ自由にしています。
- 赤ちゃんを連れたいお母さんや、子育て支援に関わっていらっしゃる利用者の要望に応えていくことも大切だと感じています。

これからやってみたいこと

- わらべうたの伝承は強い意志を持って続けていきたい。また、子育て支援に携わりたいという希望を持っている方に、伝承あそびを教える講座などを開きたいと思っています。

主宰者 貝喰治子さん



参加者の声

参加のきっかけ、良かったこと

- 友人に誘われたのをきっかけに、月2、3回通っています。
- ここは家族みたいな雰囲気があるので落ち着きます。でも、一番の魅力はやっぱり貝喰さんの人柄です。
- 子どもが騒いでも、見守ってもらえるので居心地がいい。
- 子どもたちの趣味や性格を理解している貝喰さんに、おすすめ絵本を選んでもらえるのが一番の楽しみです。

参加者 A.Fさん

